

### 第36回みんなのタウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和7年12月23日(火) 午後7時00分～8時30分
- 2 開催場所 オンライン
- 3 参加者 市長及び市民5名
- 4 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ (市政報告)
  - (3) 懇談(フリーテーマ)
  - (4) 閉会
- 5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	民設学童保育所での溺水事故について	<p>7月に事故があり、その後も引き続き同じ事業者で学童が運営されています。既に来年度の募集、申請も終了していて、報告書の内容もざっと確認をさせていただきましたが、市としては、運営事業者に引き続き補助を出し続けて、事業者を替えずにやっていくという考えでいるのかということを確認したいのですがいかがでしょうか。</p> <p>補助の決定をする際に、市としてどこまで調べていたかはわかりませんが、過去にメガロスとして直近で2度の溺水事故あって、3度目となる今回はついに死亡事故が起こったということ、募集をかけた時点でそういったことを確認していなかったのかということ、児童福祉法で基準を設けることが義務づけられていることに基づいて、市の条例で基準が定められています、その中で義務付けられている安全計画を、野村不動産側は策定していませんでした。そういったものを市としてしっかり確認していれば、もしかしたら今回の死亡事故を防げたかもしれないと思っています。</p> <p>メガロス側の検証委員会の報告書と、今回市側からの報告書を拝見していますが、誰がどう見ても、起こるべくして起きてしまったというような内容になっています。</p> <p>委託ではなく補助という形ではありますが、指導監督責任があるという中で、それが全く機能していないという中で、同じ事業者に引き続き運営させるといところが、利用者として大変不安なんです。これが、今度はプールではなく、また違うイベントで死亡事故等が起こる可能性があるんじゃないかという不安があり、事業者を替えるという選択肢は検討されていないのでしょうか。</p> <p>死亡事故検証報告書が今日公表されたので、私も拝読させていただきました。これは起こるべくして起こる事故だなというのは報告書からすごく伝わってきて、正直私も報告書を読んだ限りでは、メガロスに任せ続けていいのかという感想を持ちました。</p> <p>プール事故ということで、プール遊びをやめる方法もあるようですが、そもそも安全管理に対する意識が低過ぎるなというところはすごく感じたので、恐らくプールだけではなく、今後、何かしらの事故が起きてもおかしくないような体制なのかなと思いました。</p> <p>市のほうでも、安全計画の策定の確認も不十分だったということが報告にもありましたし、やはり子どもを育てる世帯からすると、今回のこの報</p>	<p>本当にあってはならない痛ましい事故でした。我々としてはこれまで、引き続きメガロス東小金井学童を運営されている野村不動産ライフ&amp;スポーツへの補助を継続するという考えでしております。昨日初めて、検証報告書を受け取ったところですので、まずはそれをしっかり確認させていただいており、今後の市の対応は、これを踏まえて検討していくという形になります。</p> <p>事故があった後もそのまま学童は続けていただいているわけですが、市の担当者が立入検査をし、その後もそれに対する指導を行ったうえで再度学童保育所を確認し、安全な運営ができているのか、また、安全な運営ができる体制や環境が整えられているのか、そういったことを確認したうえで、現在も学童保育所として続けていただいている状況があります。</p> <p>今回の事故の検証報告書を検証委員会から受け取っておりますので、今回のような事故が二度と起こらないようにするというを前提に、市としては考えていきたいということには変わりはありません。</p> <p>事業者を替える、もしくは野村不動産が今後運営することがないようにする、という選択肢は、当然あろうかとは思っています。ただ申し訳ありませんが、今後のことについては、今回の報告書を受けて、検討することになると思います。</p> <p>まず整理させていただきますと、学童保育所の課外活動、所外活動として行ったプール遊びにおいての事故だったということです。プールの遊びはもう実施しないということ、まずは市として決定し、その上で、学童保育所として安全な運営ができていくことを確認してきて、現在はそのように実施されているという認識でおります。プールの事故において、今回その検証報告書の中で、改めて様々な事実確認ができておりますので、二度と起こらないようにするということは当然であります。今後どうしていくかということについては、今まだここで明確にお答えすることは差し控えていただきたいと思います。</p>

		<p>告書は衝撃的な内容なのかなと思います。一度、メガロスさんには補助を出さずに、他の事業者にもやってもらうという選択肢は排除しないようにして、再検討してもらっても良いのではないかと感じました。</p>	
2	朝の校庭開放について	<p>現在、朝の校庭開放に取り組んでいるところです。完全なボランティアで、7月6日から週に2回開催するような形で、既に20回を超えるほどになっています。</p> <p>全国的に取り上げられていることも多い、朝の子どもたちの居場所について、小金井市では、今後、どのようにお考えなのかをお聞きしたいです。</p> <p>定期開催にしてから、最多で47人、平均35人くらいの子も達が来ています。学校の規模で考えるとまだまだ割合は少ないですが、武蔵野市では15%くらいの子もが参加しているということです。見守り人員として、市から委託された事業者から2名のスタッフがついて、50、60人くらいの児童を毎朝見ていると聞いています。毎朝、友達と自由に遊べる時間が30分でもあれば、学校に入ってから活動もスムーズになりますし、よく食べ、夜はよく寝て、また次の日、朝早く起きて学校にくるという健全なサイクルができているような感じがします。</p> <p>出社の後、学校が始まる8時15分まで子どもが1人で過ごさなければならぬという親の事情が、ニュースなどで取り上げることが多くなっています。しかし、実際には朝から遊びたいという子ども達の声も多いです。</p> <p>先月参加者に向けてアンケートを取りました。その中で8割は、子ども達が参加したいと言っているという声でした。その中には、やはり預けたいという親の声があるんですが、何より子どもたちの遊びの時間が足りていない、遊ぶ空間がない、放課後はみんな忙しくて遊べる仲間がいないということです。朝開放は、本当にそれが提供できていると思っています。ですので、子ども達の声を主体に考えてもいただきたいと思います。</p>	<p>各地域で同じような取組もされているということと、今、社会的状況として、朝の子どもたちの居場所についても重要な視点であるということは認識しております。</p> <p>今の段階では、市としてすぐに始めるところまでは考えられておりませんので、実際にどこまでニーズがあるのかということも踏まえて、様々な検討が必要となるということと、やるのであれば、やはり市として責任を持って実施しなければならないので、持続可能な仕組みにする必要があるということと、今後はそういう状況も含めて検討していくことになるうとは思っています。</p> <p>私もやはり保護者のニーズという印象を受けていましたが、実際に実施されている立場から子ども達のニーズだということを知り、改めて一つ認識させていただきました。そういう課題があるということと、今改めて、子どものニーズだということ、子どもの環境を考えたときに必要なんだというご意見をいただきましたので、教育委員会とも共有しつつ、状況を見ながら検討したいと思っています。</p>
3	交通ルールについて	<p>小金井市に転入したばかりですが、小金井市は歩行者や自転車など非常に信号無視が多くて驚きましたし、最近では、信号の止まるべきタイミングに止まらない車の多さが非常に気になりました。うちの目の前にも京王バスのバス停があり、その先が押しボタン式の信号になっているんですが、京王バスが止まって押しボタンが押され、信号は赤になっているにもかかわらず、バスを追い越した車が、3台、4台、5台と連続で信号無視するのを見ました。以前、仕事で小金井街道を走っている時に、赤信号でも歩行者や自転車が止まらないのだろうかと思いに思っていました、転入してみると、実は車も止まらないということがわかりました。</p> <p>車やバスの運転をしてもう30年になりますが、小金井市で今まで事故が起これなかったのか不思議なぐらいという印象です。多摩地域の各地で仕事をしてますが、小金井市の信号無視が目立ちます。</p> <p>私も最近転入してきましたが、小金井市の方は交通ルールを守らない方が多いというのは衝撃でした。特に自転車の方は、恐らく最近道路交通法が改正されたことなどを十分に認知できていない方が大半なのかなと思います。歩道を自転車で走行する人もいれば、ヘルメットも当然かぶっていません。</p>	<p>どちらかというと、自転車が交通ルールを守らないという件についてはいろいろ御意見いただくことが多いですが、車両の信号無視ということは今まで聞いたことがありませんでした。</p> <p>交通対策については警察の案件でもありますが、市でも交通対策課という交通政策を所管している部署がありますので、警察と交通対策課と共有しながら、対策を考えていきたいと思っています。</p>

		<p>最近、東小金井駅の北側の道がとても広くなって、自転車の専用道もできましたが、それをきちんと使っていない方もいれば、全く無視して歩行者が歩いている歩道を縫うようにして走行する自転車もたくさんいるような状況です。</p> <p>いい大人に対して、どのように交通ルールを指導していくのかということは、いろいろと難しいところではあると思いますが、チャイルドシートをつけた自転車の方が、そういった交通違反をしているケースをよく見るので、例えば認可保育園を通じて直接リーフレットを配布するなりというやり方も一つあるでしょうし、とにかく何か集中的に、そういう走行をしている方に対して、直接的に指導する方法がないかなと思います。交通ルールを守る方が多くなれば、そういう姿を見て、周りもだんだんルールを守っていくと思いますし、警察任せにするのではなく、市のほうでもまずは改めて市民に対して正しい交通ルールを認知してもらうという取組を、もちろんホームページでいろいろ注意喚起されているのは知っていますが、もう少し直接的な方法が欲しいというところです。</p>	
4	子育て支援について	<p>皆さん子育て支援というところの意識が高いと思いますが、小金井市は今後、どこまで子育てに対して力を入れていくのかということが私自身見えていないため、どの部分を押ししていきたいのか、市長のお話をお伺いしたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>これは要望になりますが、小金井市は税収面で難しいところがあると思いますので、ファミリー層を誘致して税収を確保するためにも、子育て支援がうまくいっている自治体の良いところも取り入れる検討を前向きにさせていただけると、より良い方向に進むと思います。</p>	<p>これまで全く子育て支援がないような状態から、待機児童問題を経て、様々な子育て支援に取り組んできたという経過があります。私自身も、これまで子育ての当事者として非常に不便であったり、感じるころがありましたので、子育て支援をしっかりと注力することによって、新たな子育て世代を小金井市に呼び続けられる、そういうまちにしていきたいと思い、この間取り組んでまいりました。</p> <p>子育て支援についてまだ課題はたくさんあります。特に23区から転入された方々からすると、特別区と比較してできていない事や不十分と感ぜられる点が多いということをよく耳にします。財政的な面もあり、やはり特別区のほうが様々な新たな取組を率先して取り組まれ、それが多摩地域に波及していくという流れがありますので、比較されると正直辛いところではあります。たださきほど申し上げたように、小金井市のこの環境は、都心からも近く、住環境の中に緑も多く、公園も広く、子育てするにはちょうど良い環境であるということは間違いないと思っていますので、ソフトの面、政策の面でも引き続き力を入れ、環境と今後の施策展開と併せて、どう特徴をつけていけるかということが大事だと思っています。教育環境も小金井市の特徴の一つで、市内には大学3つ、専門学校3つ、複数の私立中学校、私立高校があります。11.3キロ平米の中に、これだけ集まっている環境はありません。そういった教育機関とも包括連携協定を結んでおりますが、もっと連携の力を発揮させるということと、地域の皆さんの子どもも関係に関する取組というものを総合していくことで、子育てと教育という点において、さらにまちの特徴になるのではないかと考えています。</p>
5	学校の危機管理について	<p>小学校の安全管理及び危機管理についてお尋ねしたいことがあります。</p> <p>池田小学校の事件と、今年の立川での保護者の知人による暴行事件を受けて、23区では電子錠と来校者を確認してから門の鍵を開ける手はずになっているところが大半ですが、小金井市の学校は鍵すらかけていない門が幾つかあります。それについてどうお考えでしょうか。</p> <p>門に防犯カメラも設置していない、電子錠もつけていない、柵も低いままです。不審者情報が何日も続いている中で、安心して子どもを預けられるのでしょうか。</p>	<p>鍵がかかっているところもありますが、かけられていないところは学校開設以来、ずっとそういう状況であると認識をしています。学校に関することですので、教育委員会ともしっかりと相談したいと思います。</p>

6	学校のプール授業について	<p>学校のプール授業に参加しない場合は、プールサイドで授業を見ているだけになります。民間学堂の溺水事故があったことを踏まえると、監視員の人数が不足している状況を考えて、指導要領にもあるのかもしれませんが、100%実施しなければならないわけではないと伺っていますので、こういった市の状況の中でやり続ける意味があるのかというところは、教育委員会と連携して、ニーズ等も勘案して、今後検討していただきたいと思います。</p>	<p>プール授業については、市議会議員の時代から「授業の在り方」についていろいろ調べたり、他市の事例を見たり、意見してきたこともありました。</p> <p>屋外プールのため、夏の暑さで授業の回数がこなせていないという点と、今までは教員がしっかりと安全確認してきた結果として事故は起こっていないものの、教員の負担であることは間違いなく、今後も同様な安全管理体制が維持できるのかという点の大きく2点の問題があるため、だからこそ、民間にお願いするという方法も一つの選択肢でした。それで、去年から一部民間にお任せするモデル授業をしていますが、今回の事故がありましたので、どうするか改めて考えざるを得ないというところです。地方のほうでプール授業をやめたところもありますので、それも一つの選択肢かもしれないと考えています。今のままで良いとは思っていませんが、やはり民間に任せることの課題というのも今回改めて感じていますので、それを踏まえて教育委員会とも今後詰めていきたいと思っています。</p>
7	東京アプリの活用について	<p>東京アプリを活用して、小金井市のほうでそういうイベントをどんどんブッシュしていったらどうでしょうか。ボランティアだとなかなかやりたがらない人でも、何かポイントがつくのであればやってもいいと思う方は結構いらっしゃると思うので、それを積極的に活用してみるというのは一つ手なのではないかと思っています。</p>	<p>まだ活用には至っていませんが、活用の仕方によっては、課題として挙げられていることに少しでも関わるような取組につながればと思います。そういう御意見も含めて、ちょっと今後いろいろ考えていきたいと思っています。ありがとうございます。</p>
8	教育委員会との連携について	<p>学童の件で、年度内には判断があると思うんですが、2月頃に公設、民設それぞれの決定通知が届きますが、そこで世帯としては決めなければなりません。あと2か月ぐらいしかありませんので、今回の報告書をもって、存続させるのか否か、事業者を替えて存続させるのかといったところというのは、スピード感を持って判断していただかないと物理的に間に合いませんので、優先的にお願いします。</p> <p>今後またメガロス側で説明会があると思いますが、保護者説明会には、市側から教育委員会の出席がありません。結構学校関連とか教育委員会関連の質問が出ますが、児童青少年課の方が、確認して後日答えますということになっていて、全然連携が取れていませんので、教育委員会のほうも参加するなりするようにいった指示を、市長からもしていただきたいと思っています。</p>	<p>相談のうえ、共有したいと思っています。</p>